

「日米海鳥シンポジウム/ワークショップ・イン羽幌」プログラム案

日米公開海鳥シンポジウム

平成 14 年 10 月 12 日(土)

『日本の海鳥たちのいま、そして私たちにできること』

目的：

- ・ 日本及び米国における海鳥の生息状況、保護増殖にむけた対策、今後の課題について発表、評価する。さらに、地域における海鳥保全対策のケーススタディとして、天売島を取り上げ、討議を行う。また、これらを通じ、海鳥の保全に関する意識の向上、普及啓発を図る。

プログラム：

- 9:00-- 9:15 日米海鳥ワークショップの開催にあたって
- ・ 黒田大三郎（環境省野生生物課長）
 - ・ 舟橋泰博（羽幌町長）
 - ・ 米国魚類野生生物局 代表
- 9:15-- 10:00 海鳥を学ぼう（Learn about Seabirds 日本語版）教育プログラム 実演
佐藤美穂子（北海道海鳥センター友の会）

《第一部：日本の海鳥の現状と課題》

- 10:00-- 10:20 海鳥保全への環境省の取り組み
中島尚子（環境省野生生物課）
- 10:20--10:45 北海道における海鳥の保全
長 雄一（北海道環境科学研究センター）
- 10:45--11:10 八重山諸島における海鳥の現状と課題
河野裕美（東海大学沖縄地域研究センター）
- 11:10--11:35 海上における海鳥の保全上の諸課題
小城春雄（北海道大学）
- 11:35--12:00 アホウドリ：復活への離陸
長谷川 博（東邦大学理学部）
- 12:00--12:15 日本海鳥コロニーカタログの概要について
小野宏治（北海道海鳥センター）
- 12:15--13:30 - 昼食 -

《第二部：米国における保全》

- 13:30--13:45 海鳥の保全システム ~日本と米国のちがい~
ジョン・フリーズ（日本海鳥グループ）
- 13:45--14:10 繁殖地における海鳥保全
ジェフ・ウィリアムズ（米国内務省魚類・野生生物局）
- 14:10--14:35 デビルズスライドロックにおけるウミガラスコロニーの再生
ハリー・カーター（米国地質調査所）
- 14:35--15:00 海鳥の漁業被害と混獲防止
エドワード・メルヴィン（ワシントン大学）

- 15:00--15:25 油汚染に対する生態系被害のリスク管理
ポール・ケリー（米国内務省魚類・野生生物局）
- 15:25--15:45 - 休憩 -
- 15:45--16:10 森と海をむすぶ鳥、マダラウミスズメ
キム・ネルソン（オレゴン州立大学）
- 16:10- 16:35 北太平洋におけるアホウドリの発信機調査---日米共同の保護への取り組み
ロブ・スーリヤンほか（オレゴン州立大学）
- 16:35--17:00 北米水鳥類保全計画について
ジム・クシュラン（米国地質調査所）
- 17:00--17:20 - 休憩 -

《第三部：ワークショップ 日本における海鳥保全を考える ~天売島を保全の具体例として~》

- 17:20--17:50 天売島の海鳥：保護上の問題点とこれまでの経緯
ファシリテーター：綿貫豊、小野宏治、ジョン・フリーズ（日本海鳥グループ）
話題提供者：綿貫豊（北海道大学）・
寺沢孝毅（天売島海鳥保護対策委員会）
- 17:50--18:35 総合討論
- 18:35--18:40 閉会の挨拶

【10月13~14日 海鳥保全のための専門家ワークショップ】

目的：

海鳥を保全するためのさまざまなテーマについて総合的なレビュー及び検討を行い、今後の課題及び取り組みの促進について多面的角度から討議を行う。

プログラム：

10月13日（日）海鳥ワークショップ1日目

9:00- 10:00 北海道海鳥センター自由見学

海鳥専門家ワークショップ 10:00- 18:30

10:00--10:05 開会挨拶

10:00--12:30 ワークショップ1 海鳥の調査・モニタリング・情報の共有

・ファシリテーター：綿貫 豊（北海道大学）

・話題提供者

「モニターとしての海鳥」 綿貫 豊（北海道大学）

「海鳥の洋上分布の現状把握と情報共有」 長 雄一（北海道環境科学センター）

「海鳥のモニタリングと保全の体制」 岡 奈理子（山階鳥類研究所）

12:30-- 14:00 昼食、休憩

14:00--16:00 ワークショップ2 繁殖地の保全・国際的枠組み

・ファシリテーター：ケント・ウォール及びキム・ネルソン

- ・ 話題提供者
- 「日本における鳥類保全の法規制」 中島尚子（環境省）
- 「浜中町におけるエトピリカの繁殖地保護に向けて」 片岡義廣

16:00--16:15 休憩

16:15--18:25 話題提供者（発表20分、質疑5分）

- 「ボン条約と海鳥保全」 市田 則孝（バードライフアジア）
- 「アジア太平洋地域渡り性水鳥保全戦略 海鳥保全のためのモデルケース」
未定
- 「北極域海鳥ワーキンググループにおける活動」
ケント・ウォール（米国内務省魚類・野生生物局）

18:25--18:30 閉会

10月14日（月・祝） 海鳥ワークショップ2日目（9:00～17:00）

9:00--12:00 ワークショップ3 海洋汚染・混獲削減

- ・ ファシリテーター：ハリー・カーター
- ・ 話題提供者

- 「混獲削減への取組み」 小城春雄（北海道大学）
- 「油汚染等環境災害」 植松一良（日本環境災害情報センター）
- 「沿岸環境情報整備」 山本 強（海上保安庁第一管区海上保安本部）

12:00- 13:30 昼食

13:30--15:30 ワークショップ4 環境教育・普及啓発

- ・ ファシリテーター：東梅貞義（WWFジャパン）
- ・ 話題提供者
- 「シギ・チドリ類を活用した環境教育」 東梅貞義（WWFジャパン）
- 「自然環境教育・普及啓発の重要性」

15:30- 16:55 まとめ

16:55- 17:00 閉会挨拶

【10月15日 エクスカーション】

8:00--13:00 羽幌町内フィールドトリップ

注）各発表の標題は暫定的なものです。また、米国出席者については変更の可能性があります。